

2021 年度入学試験問題

外国人留学生・渡日生（外国人生徒）特別選抜

小 論 文

注 意

1. 指示があるまで、手を触れないこと。
2. 指示に従って、解答用紙に受験番号および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は、解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入すること。
4. 問題冊子は4ページ、解答用紙は1枚である。もし、問題冊子の落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどがあれば、ただちに申し出ること。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

観光が都市の基幹産業になる流れは、ニューヨーク、サンフランシスコ、パリなど、欧米ではすでに通ってきた道であり、世界的にいうと新しい話題ではありません。

しかし日本にとって、基幹産業が重厚長大型から観光のようなサービス型に転換することは、大きな^(a)パラダイムシフトです。①加えて日本では観光業の盛り上がり^(a)があまりに急でした。だからこそ、解決法も急いで考えなければいけないのです。

20世紀の先進国では、GDPは②製造業が牽引してきました。それに最も成功したのが戦後の日本で、「ものづくり日本」というスローガンが高く掲げられてきたわけです。しかし③欧米先進国の流れは、ものづくりからサービス業や観光業へと変わっていますし、すでに日本もその流れに巻き込まれています。

観光庁の「旅行・観光消費動向調査」では、17年の^(b)インバウンド旅行④消費額も含めた、日本における旅行消費額は26.7兆円となっています。これは、トヨタの⑤総売上高と拮抗する数字で、観光が「産業」として、いかに活性化したのかを表しています。日本は「ものづくり大国」から「もの誇り大国」へ、スローガンをA変更する時期に来ているのです。

ここでなぜ日本に観光産業が必要か、抱えている社会課題に基づいてお話ししていきましょう。

戦後の高度経済成長を背景に、前世紀の日本では^(c)ベビーブームや地方から都会への労働力の移動が起こり、都市部では「人口増加」と「住宅不足」が大きな社会課題でした。

しかし21世紀に入ると、社会は少子化、高齢化にさらされ、経済も成長速度を落としていきます。課題は「人口減少」「空き家問題」と、対極のものになりました。

図1は総務省統計局による日本の総人口の推移です。

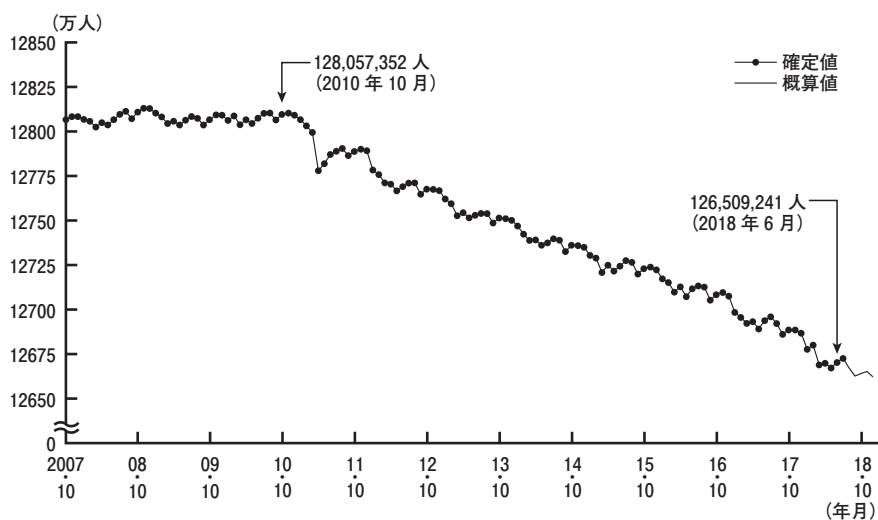
統計によると、16年から17年の1年間では35万2000人が、また17年から18年の1年間では40万1000人が減少しました。

35万人から40万人という人口は、東京23区では品川区、県庁所在地では岐阜市、宮崎市、長野市に匹敵します。わずか1年のうちに、大きな行政区がなくなってしまうと考えると、事態の深刻さがよく分かります。

図2は、世界銀行が調査している、日本の農村部人口の推移です。1975年から2000年まではほぼ〔ア〕でしたが、それ以降、21世紀になってから激しい傾斜を描いて人口が〔イ〕ことが見て取れます。

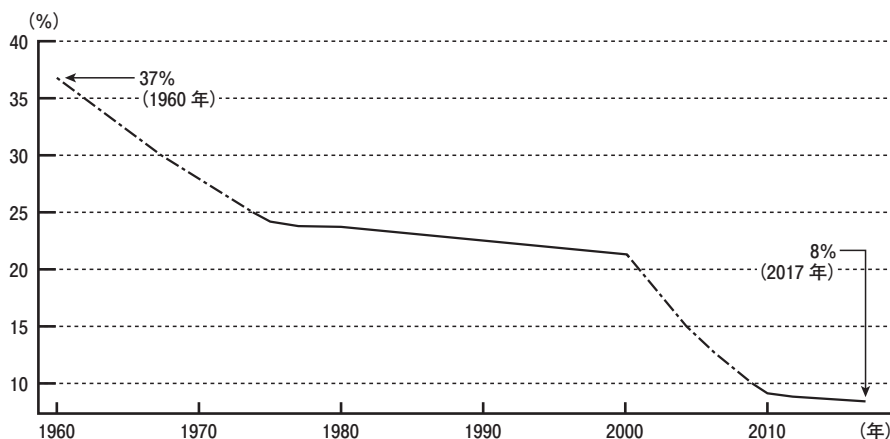
とりわけ日本において、農村部の人口減少は深刻な問題を引き起こします。なぜならば、日本のシステムは労働力、エネルギー、食べ物と、生活に必要なすべてを、農村部を含めた地方に依存しているからです。

図1 日本の総人口の推移



出典：総務省統計局「総人口の推移」(人口推計2018年6月確定値、2018年11月概算値。2018年11月20日公表)

図2 日本の農村部人口の推移



出典：World Bank open data, Rural population Japan

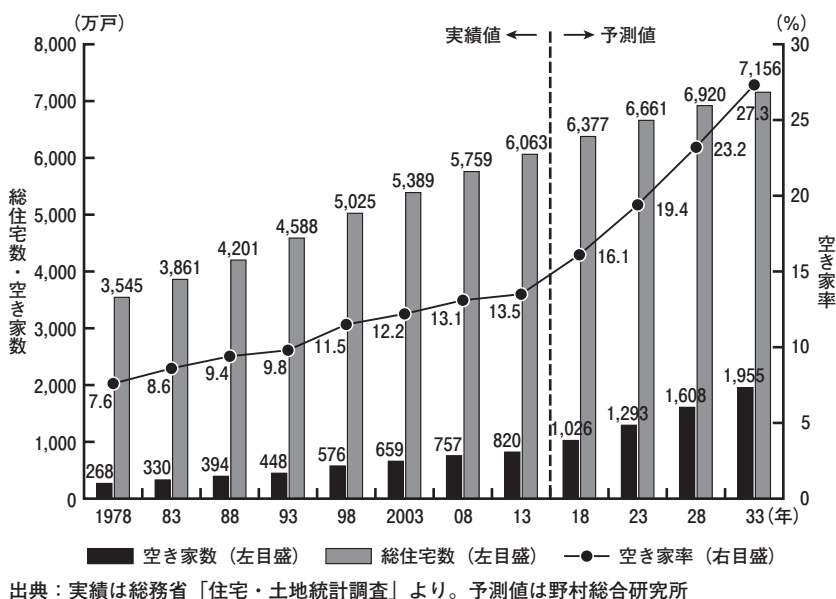
都市民の暮らしを支えている地方と農村部が凋落するとなれば、経済の中心である都市もそれに伴って力を落としていくことは必至です。

さらに図3は、野村総合研究所が2018年6月に発表した日本の空き家数と空き家率の推移と、2033年時点までの予測値です。

現時点で全国の空き家数がすでに1000万戸を超えているのも驚きですが、このまま行くと、33年には〔ウ〕戸近くにまで達することが見込まれており、ショッキングな予測になっています。

人口減少と空き家問題は、間違いなく日本が抱える大問題です。B その要因は複雑に絡み合っており「これをやればすっきりと解決します」という、即効性のある対策はなかなか生み出しにくい。しかしその中であっても、成長余地が十分に残された観光産業の育成は、日本にとって数少ない救いの道といえるのです。

図3 総住宅数・空き家数・空き家率の実績と予測値



【出典】アレックス・カー 清野由美『観光亡国論』（中央公論新社，2019年）

※設問作成にあたり、一部を加工しました。

設問 1 ①～⑤の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

設問 2 (a)～(c)の意味を簡潔に説明しなさい。

設問 3 [ア] ～ [ウ] をそれぞれ埋めなさい。ただし、[ア] は8字以内、[イ], [ウ] は6字以内とする。

設問 4 A について、変更する前の日本の産業構造を20字以内で説明しなさい。

設問 5 B について、日本における人口減少・空き家問題の複雑に絡み合う要因を150字以内で説明しなさい。

設問 6 今後、日本はどのように観光産業を発展させていくべきか、人口動向や経済状況も踏まえながら、400字以内で書きなさい。